

【単元のポイント】

分数

4年生 算数 第14単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【A 数と計算】 A(6) 分数

簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができるること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- ・ 真分数、仮分数、帯分数の意味がわかる
- ・ 仮分数と帯分数の変換ができる
- ・ 同分母の分数の加法・減法ができる

【思考・判断・表現】

- ・ 分数の大小を比べられる
- ・ 分数の計算の仕方を説明できる
- ・ 数直線上に分数を表せる

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 分数のよさに気づいている
- ・ 整数や小数との関係を考えている

◆ 指導上の留意点

1. 分数の種類

- ・ 真分数：分子 < 分母 ($\frac{2}{3}$ など)
- ・ 仮分数：分子 \geq 分母 ($\frac{5}{3}$ など)
- ・ 帯分数：整数と真分数 ($1\frac{2}{3}$ など)

2. 仮分数と帯分数の変換

- ・ 仮分数→帯分数：分子 ÷ 分母 = 整数部分…余り
- ・ 帯分数→仮分数：整数 × 分母 + 分子
- ・ 例： $\frac{7}{3} = 2\frac{1}{3}$ 、 $2\frac{1}{3} = \frac{7}{3}$

3. つまずきやすいポイント

- ・ 真分数と仮分数の区別がつかない
- ・ 帯分数の足し算で整数部分を忘れる
- ・ $\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{10}$ としてしまう（分母も足す）
- ・ 引き算で繰り下がりが必要な場合

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 視覚的理 解：円グラフや数直線で分数を表す
2. 段階的な計算：真分数の加減 → 帯分数の加減
3. 変換問題：仮分数 ⇄ 帯分数の変換
4. 大小比較：同分母の分数の比較
5. 繰り下がり：帯分数の引き算で注意